

**2026 年度 島根県立大学大学院 入学志願票  
(B日程用)**

受験番号 ※

試 験 地	浜田会場	入学時期	1. 春学期 (4月) 入学 2. 秋学期 (10月) 入学	
課程・専攻	1. 博士前期課程(北東アジア専攻) 2. 博士前期課程(地域開発政策専攻) 3. 博士後期課程(北東アジア超域専攻)	出願区分	1 一般選抜 2 外国人留学生特別選抜 3 社会人特別選抜 4 大学3年次生対象特別選抜 (3,4は博士前期課程のみ)	
<small>In Roman block capitals</small> ローマ字		性別	生年月日	
氏 名		男・女	年	月 日
現 住 所				
電話番号		F A X		
E-mail	@			
合格通知等 送 付 先	〒			
電話番号	(       )       -			
最終学歴	大学 大学院	学部 研究科	学科 専攻	
	年       月       (卒業・修了) (卒業見込み・修了見込み)			
外国語	英 語 ・ 中国語 ・ 韓国語 ・ ロシア語 ・ モンゴル語  (北東アジア専攻の一般選抜及び大学3年次生対象特別選抜、地域開発政策専攻の一般選抜及び大学3年次生対象特別選抜、北東アジア超域専攻の一般選抜のみ選択してください)			
指導を希望 する教員	博士後期課程 北東アジア超域専攻	(第1希望)	(第2希望)	(第3希望)
		(第1希望)		(第1希望)
	博士前期課程 北東アジア専攻	(第2希望)	博士前期課程 地域開発政策専攻	(第2希望)
		(第3希望)		(第3希望)

**【記入上の注意】**

1. ※欄は、記入しないでください。
2. 「入学時期」欄は、入学を希望する時期の番号を○で囲んでください。
3. 「課程・専攻」欄は、受験する課程・専攻の番号を○で囲んでください。
4. 「出願区分」欄は、出願区分の番号を○で囲んでください。
5. 「外国語」欄は、受験を希望する言語を○で囲んでください。
6. 「指導を希望する教員名」欄は、博士前期課程に出願される方は「学生募集要項」の12ページを、博士後期課程に出願される方は「学生募集要項」の10ページを必ず参照のうえ、出願する専攻に所属する教員を、第3希望まで選んで記入してください。なお、第2、3希望は他専攻に所属する教員を選んで記入することができます。

# 履 歴 書

( B 日 程 用 )

B 票

(フリガナ) 氏 名		性 別	男 ・ 女
生年月日	年      月      日	国 籍	
学 歴 <span style="float: right;">※この欄は、高等学校卒業から（外国人留学生は小学校入学から）現在までの学歴を記入すること。</span>			
年 月 入学			
年 月 卒業			
年 月			
年 月			
年 月			
年 月			
年 月			
職歴または研究歴			
年 月			
年 月			
年 月			
資格・賞罰等			
年 月			
年 月			
外国語能力（自己評価を記入してください。検定等の成績があれば、「検定等」に記入してください）			
英 語 [ 優 ・ 良 ・ 可 ・ 不可 ]	検定等（名称：	・	点・級）
( )語 [ 優 ・ 良 ・ 可 ]	検定等（名称：	・	点・級）
( )語 [ 優 ・ 良 ・ 可 ]	検定等（名称：	・	点・級）
日 本 語 [ 優 ・ 良 ・ 可 ・ 不可 ]	検定等（名称：	・	点・級）

※ ( ) 語は、自己評価で可以上の言語があれば記入してください。「日本語」は外国人留学生のみ記入してください

- 【記入上の注意】**
1. 「国籍」欄は外国人留学生のみ記入してください。
  2. 資格については、研究上有効と思われるものを記入してください。

<b>C 票</b>	受験 番号	※
2026 年度 島根県立大学大学院		
<b>受 験 票</b>		
B 日程		博士前期課程(北東アジア専攻)
		博士前期課程(地域開発政策専攻)
		博士後期課程(北東アジア超域専攻)
※受験する課程・専攻に○を付けること		
(住所)		
(氏名)		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p style="text-align: center;">写真貼付欄 &lt;注意&gt; 上半身、脱帽、 正面向きで出願 前3ヶ月以内に 撮影したもの</p> <p style="text-align: center;">縦 4 cm×横 3 cm</p> </div>		
試験当日は、この「受験票」を必ず持参すること。		

(注) ※欄は記入しないでください。

<b>D 票</b>	受験 番号	※
2026 年度 島根県立大学大学院		
<b>写 真 票</b>		
B 日程		博士前期課程(北東アジア専攻)
		博士前期課程(地域開発政策専攻)
		博士後期課程(北東アジア超域専攻)
※受験する課程・専攻に○を付けること		
(住所)		
(氏名)		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p style="text-align: center;">写真貼付欄 &lt;注意&gt; 上半身、脱帽、 正面向きで出願 前3ヶ月以内に 撮影したもの</p> <p style="text-align: center;">縦 4 cm×横 3 cm</p> </div>		

(注) ※欄は記入しないでください。

# 入学検定料振込用紙 (B日程用)

入学検定料納付書 ( **E票** : 大学提出用)

* 受験番号		取扱金融機関収納印
課程・専攻	<input type="checkbox"/> 博士前期課程(北東アジア専攻) <input type="checkbox"/> 博士前期課程(地域開発政策専攻) <input type="checkbox"/> 博士後期課程(北東アジア超域専攻)	取扱金融機関収納印 1/3 入学検定料
志願者氏名	氏名 (漢字)	
	住所	
	電話 - -	
金額	¥30,000	

- ◎ 黒のボールペンで、太線枠内に楷書で丁寧に記入してください。  
◎ 「課程・専攻」欄は、受験する課程・専攻に印を付けてください。 例:  博士前期課程 (北東アジア専攻)  
◎ 取扱金融機関の収納印のないものは無効です。  
◎ \* 印欄は記入しないでください。

振込手続きが終わるまで切り取らないでください

## 入学検定料領収書 (本人保管用)

課程・専攻	<input type="checkbox"/> 博士前期課程(北東アジア専攻) <input type="checkbox"/> 博士前期課程(地域開発政策専攻) <input type="checkbox"/> 博士後期課程(北東アジア超域専攻)	取扱金融機関収納印
志願者氏名	氏名 (漢字)	取扱金融機関収納印 2/3 入学検定料
	様	
	住所	
	電話 - -	
金額	¥30,000	左記のとおり領収しました。

公立大学法人島根県立大学

- ◎ 「課程・専攻」欄は、受験する課程・専攻に印を付けてください。 例:  博士前期課程 (北東アジア専攻)  
◎ いったん納入された入学検定料は、返還いたしません。  
◎ 取扱金融機関の収納印をもって、本学の領収とします。領収書はあらためて発行いたしませんので大切に保管してください。

振込手続きが終わるまで切り取らないでください

## 入学検定料振込依頼書 (取扱店保管用)

依頼日	年 月 日	振込指定	電信扱	手数料	
振込先銀行	山陰合同銀行 浜田支店	金額	¥30,000		
受取人	預金種目	普通預金	口座番号	3732175	取扱金融機関収納印
	口座名	シマネケンリツダイガク 公立大学法人島根県立大学			
ご依頼人	氏名 (カナ)				取扱金融機関収納印 3/3 入学検定料
	氏名 (漢字)				
	住所				
	電話	-	-		

### ◎ 取扱金融機関へのお願い

- (1) 納付書(E票)・領収書・振込依頼書の3か所に収納印を押印後、納付書(E票)と領収書を依頼人へお渡しください。

### ◎ 志願者へのお願い

- (1) 太線枠内を記入してください。  
(2) 振込みは必ず金融機関の窓口で行ってください。(ATM等は不可)

【B日程用】

<input type="checkbox"/>	博士前期課程(北東アジア専攻)
<input type="checkbox"/>	博士前期課程(地域開発政策専攻)
<input type="checkbox"/>	博士後期課程(北東アジア超域専攻)

F 票

※受験する課程・専攻に○を付けること

## 研究計画書

フリガナ			
氏名	年 月 日 生	受験番号	(この欄は記入しないこと)
[研究テーマ]			
[研究の課題]			
[研究の意義]			
[研究の経歴・実績]			
[研究計画]			

- (注)(1) 博士後期課程は 4,000 字程度(英文の場合は 1,600 語程度)で記入すること。  
博士前期及び修士課程は、2,000 字程度(英文の場合は 800 語程度)で記入すること。  
各項目間の文字数配分は自由。
- (2) ワードプロソフトを使用し、貼付してもよい。
- (3) 必要に応じて継紙を使用すること。

